

活用方針・導入/活用までのステップ



VLP取組概要



■ VLP活用のねらい

- 仮想空間の居場所を活用した取組により、社会的自立に向けて、児童生徒の学びに向かう力、人間性等を引き出し、仮想空間にとどまらず、様々な場所で学びたいという意欲を高める。

■ 対象生徒・児童

- 調布市立学校に在籍している不登校又は不登校傾向の児童生徒
- 学びの多様化学校、教育支援センター、訪問型支援、校内別室等を利用している児童生徒も利用可

■ 運営時間

- 毎週火曜日 16時～17時

■ 活用方法

- 仮想空間における児童生徒同士、支援員等とのチャット機能によるコミュニケーション



VLPの導入/活用までのステップ

① 開設時間、市担当職員等の検討

- ・初期は参加児童生徒が少数であることが想定されるため、開設時間を限定した。
- ・心理士が入室して児童生徒を支援する体制を整えた。

② VLPの操作研修

- ・市職員が操作を確認後、教育支援センター職員や不登校対応巡回教員、スクールソーシャルワーカー等にも操作について周知した。

③ 定例校長会での周知

- ・作成した通知文をもとに、対象者、申込方法等の周知と教職員への周知を依頼した。
- ・学校と十分につながりをもていない児童生徒にも情報が届くよう、丁寧な案内を依頼した。

④ 児童生徒及び保護者への周知

- ・作成したチラシを各学校を通して配布し、対象となる児童生徒及び保護者へ周知を行った。

⑤ 申込書等の提出

- ・利用を希望する児童生徒について、学校を通じて申込書等を提出する仕組みとした。
- ・提出された申込内容を確認し、対象児童生徒の状況を把握した。

⑥ アカウントの発行

- ・申込内容を確認後、利用児童生徒用のアカウントを発行した。
- ・ログイン方法や利用時の留意事項等について、学校を通じて児童・生徒及び保護者へ案内した。

活動・取組み内容

活動・取組み内容

【導入前】

不登校児童生徒への支援の一環として、オンライン上でのコミュニケーション機会を確保するため、VLPの導入に向けた検討を行った。あわせて、対象となる児童生徒の状況把握を行うとともに、学校長等に活用目的や運用方法について共有した。また、システム環境の整備や基本的な操作方法の確認等を行い、運用開始に向けた準備を進めた。

【導入初期】

VLPの運用を開始し、対象となる児童生徒への周知および利用案内を行った。不登校対応巡回教員やスクールソーシャルワーカー、教育支援センター職員等実際に操作しながら、ログイン方法や利用方法を周知した。

また、より児童生徒同士の交流が生まれるよう、アクセス可能な時間を限定することとした。

【運用期】

VLPを活用し、児童生徒とのオンライン上でのコミュニケーションを継続的に実施した。チャットを通じた会話の他、ゲームなど児童生徒が楽しめるよう内容を工夫した。また、児童生徒と支援員との関係ができてくると、児童生徒自ら自己紹介などの活動をしたいと提案する姿もあり、児童生徒の思いに寄り添って活動を組み立てた。

ウェルカムメッセージ



児童生徒の作品掲示



成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

成果/好影響

○ 継続的なコミュニケーション機会の確保

VLPを活用することで、学校に来ることが難しい児童生徒ともオンライン上で継続的にコミュニケーションを取る機会を確保することができた。対面での関わりが難しい状況においても、支援員と児童生徒が継続してコミュニケーションが取れる環境づくりができた。

○ 理的負担の少ない関わり方の実現

チャット等のオンラインツールを通じたやり取りにより、児童生徒が自分のペースで支援員や他の児童生徒と関わるができる環境が整った。対面よりも参加しやすい形でのコミュニケーション手段として活用されている。

次年度以降の方針

○ コミュニケーション機会の継続的な確保

不登校児童生徒のコミュニケーションの機会を確保するため、う、VLPを活用したオンライン上でのコミュニケーション機会の確保を継続する。児童生徒が自分のペースで参加できる環境を整え、安心して関われる場として運用を進める。

○ つながりの少ない児童生徒への支援の強化

学校や関係機関との関わりが十分にもっていない児童生徒について、VLPを一つの入り口として支援につなげていく。学校、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関等と連携しながら、児童生徒の支援体制の強化を図る。

利用者の声



児童・生徒

- アバターを動かすことが初めてで楽しかった。
- 自己紹介クイズが楽しかった。みんなのを知ることができた。
- ゆるい雰囲気があってVLPは好き。
- 趣味の話ができることが楽しい。
- 「マジカルバナナ」のゲームをしたことが楽しかった。
- 服の色とかを変えられたら楽しそう。
- みんなの発言が楽しかった。



教職員や保護者等

- VLPを活用することで、児童生徒の状況に合わせた多様な学び方を提供できるようになった。
- 対面で会うことが難しい児童生徒とも、VLP上でコミュニケーションが取れた。
- 最初はオンライン対応に不安もあったが、VLPは操作が比較的分かりやすかった。
- 複数の大人（教員、心理士等）で児童生徒たちを見守れる点がよいと感じる。

「調布市における不登校児童生徒の相談支援」リーフレット

学校に行きづらい子どもたちの支援をしています

調布市における不登校児童・生徒の相談支援

調布市では、不登校は特定の子どもに起こるのではなく、「どの子どもにも起こり得ること」として捉え、不登校に対する取組を進めています。

不登校の子ども一人一人の状況は様々であり、不登校の回復に向けたステップも様々です。

市では、子どもたちの様々なニーズに応えられるよう、多様な学びの場、支援の場の提供や保護者の方への支援等を行っています。

本リーフレットでは、調布市の不登校に関する支援事業を紹介しています。ぜひご活用いただき、不登校の子どもたちの社会的自立に向けて、一緒に取り組んでいきましょう。



不登校って？

不登校とは、友達との関係が悩んだり、学習に不安な気持ちがあったりして、学校に通うことができないことをいいます。そのようなときは、不安な気持ちをきちんと学校に通うのではなく、家で休んだり、自分に合った方法で学習したりすることも大切です。

不登校について、正しく知しましょう。

- だれでも不登校になることがあります。
- 不登校は、「悪いこと」ではありません。
- 不登校の子供が自分で決めた目標に向かえるよう、大人たちが支えます。



子供がデジタルツールを「教育委員会職員」に貸している様子（東京都教育委員会）

調布市教育委員会

調布市における不登校の相談先・支援機関

①校内支援

学校では、登校しづらい児童・生徒のために、先生等が支援を行っています。空き教室や支援員の確保等の状況により、対応が異なります。詳しくは各学校へご相談ください。

☎学校へ問合せ

②不登校対応巡回教員 NEW

第七中、第八中を拠点に、2名の巡回巡回教員が中学校8校を巡回し、不登校生徒の支援や校内体制のサポート、魅力ある学校づくりの支援を行っています。

☎学校へ問合せ

③スクールカウンセラー (SC)

調布市立小・中学校全校に2名ずつ配置しています。学校の相談室等で児童・生徒本人、保護者の方の相談を受け付けています。

対象年齢：小学校1年生～中学校3年生

☎学校へ問合せ

④スクールソーシャルワーカー (SSW)

福祉の専門家が家庭や学校、地域の関係機関と連携しながら支援を行います。相談内容に応じて、家庭へ訪問したり、地域の関係機関へ同行したりします。

対象年齢：小学校1年生～中学校3年生

☎学校へ問合せ

⑤教育相談所

友達とうまくいかない、集団になじめない、学校に行きづらいなど、子どもについての心配ごとについて、心理相談員が相談を受け付けています。

対象年齢：3歳～18歳くらい

☎042-481-7633 (教育相談所)

⑥教育支援コーディネーター

登校しづらい不登校の相談、発達に関する相談、学校や教員の対応についての相談などを行います。相談内容に応じて、関係機関につなぎます。

対象年齢：小学校1年生～中学校3年生

☎042-481-7718・7719 (教育委員会指導室)

⑦訪問型支援「みらい」

教育支援コーディネーター、心理士等が、不登校の児童・生徒の自宅や公共施設などを訪問し、悩みごとの相談や、お子さまの自己学習の支援を行います。

対象年齢：小学校1年生～中学校3年生

☎042-481-7718・7719 (教育委員会指導室)

⑧通達指導教室「太陽の子」

【在籍校に帰るためままま入居】

不登校の小学校4年生から6年生までの児童の居場所としての役割を担っています。個別課題学習、身体活動、行事等を通して自尊感を育み、社会的自立に向けた支援を行っています。

対象年齢：小学校4年生～6年生

☎042-481-7718・7719 (教育委員会指導室)

⑨学びの多様化学校分教室「はしうち教室」

【調布市立第七中学校に転校して入居】

不登校の中学生が社会的自立に向けて学ぶ学校です。文部科学省の認可を受け、ゆとりのある時間制で学びます。少人数の学級編制です。個別学習の授業や表現方法を高める「表現科」などの授業を行っています。

対象年齢：中学校1年生～3年生

☎042-481-7718・7719 (教育委員会指導室)

⑩テラコヤ・スイッチ

毎週木曜日の午後4時から6時まで、子どもたちと大学生のスタッフとの小さな集団で様々な活動を行っています。「おそひ隊の日」、「まなび隊の日」を設けており、ゲームで遊んだり、話をしたりしています。活動内容は子ども自身が決めることができます。

対象年齢：小学校4年生～中学校3年生

☎042-481-7585 (教育委員会指導室)

⑪バーチャル・ラーニング・プラットフォーム (VLP) NEW

3Dメタバース空間により構築されたバーチャル空間であり、タブレットなど端末を通してアバターを操作し、コミュニケーションをとることができます。

対象年齢：小学校1年生～中学校3年生

☎042-481-7718・7719 (教育委員会指導室)

⑫メンタルフレンド

小学生・中学生の家庭に大学生・大学院生をメンタルフレンドとして派遣しています。

活動内容は、家庭・学校・メンタルフレンドが相談して決めます。ゲーム、おしゃべり、動画などの活動を行っています。

対象年齢：小学校1年生～中学校3年生

☎学校へ問合せ

⑬学校に行きづらい子どもの保護者の思い

学校に行きづらい子どもの保護者の思いが一人で悩み、孤立することを防ぐため、保護者の思いを4回訪問しています。そのうち1回は土曜日開催です。

対象：学校に行きづらい子どもの保護者

【調布市在住の方】

☎042-481-7585 (教育委員会指導室)

同ここあ (社会福祉協議会)

学校、家庭生活などに関する悩みごとに関して、ご本人やご家族からの相談に応じて、必要に応じて個別やグループで、今後の子育てを一緒に考え、必要に応じて発達障害事業等のご案内をします。

対象年齢：中学生以上

☎042-452-8816

⑭すこやか

子育てに関する総合的な支援施設です。相談はケースワーカーや心理士などの専門家が対応しています。必要に応じて、所内サービスを組み合わせたり、地域の関係機関と連携したりしています。

対象年齢：対面型～8歳

☎042-481-7731

⑮青少年居場所「Kitos」(特定 NPO 法人)

中学生から20代まで、誰でも利用できる施設です。様々な事情を抱えている子どもたちが、目を休め安心して居場所を提供しています。Kitosでは、一人でのんびりしたり、仲間があるときに話ししたり、集まった仲間と一緒に活動をしています。

対象年齢：中学生から20代

☎042-464-0749

⑯青少年ステーション「CAPS」(NPO 法人)

中学生・高校生世代のための居場所。音楽やダンス、スポーツ、クラフトなどの活動ができ、何事も、のんびり過ごすこともできる居場所です。スタッフや心理士が相談に応じて寄り添いながら一緒に考えます。

対象年齢：中学生・高校生世代

☎042-442-5535

※緑色の枠は調布市教育委員会指導室主要の事業を、黄色色の枠は調布市子ども・若者支援地域ネットワークのメンバーが実施する事業を示しています。

※事業実施の優先順位はページの「高燃期」「低燃期」「回復期」における調布市の支援の取組に準じています。

【参考ホームページ】

- 子育て内線・生活への相談: <https://www.city.toshu.lg.jp/education/kyosei/kyosei.html>
- 「学校へお電話」に「不登校」の相談: <https://www.city.toshu.lg.jp/education/kyosei/kyosei.html>

◆不登校児童・生徒の回復へ向けた三つの時期

不登校からの回復への道のりは、その種類や期間など、一人一人異なっており、決して一律ではありません。しかし、一般的にその状態は大きく「高燃期」「低燃期」「回復期」の三つの時期に分けることができます。下の表の子ども姿を参考に、現在の状態を把握して、適切な支援を考えていきましょう。

【高燃期】	【低燃期】	【回復期】
<ul style="list-style-type: none"> ①校内支援 ②不登校対応巡回教員 ③スクールカウンセラー (SC) ④スクールソーシャルワーカー (SSW) ⑤教育相談所 ⑥教育支援コーディネーター 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦訪問型支援「みらい」 ⑧太陽の子 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨はしうち教室
<ul style="list-style-type: none"> ⑩バーチャル・ラーニング・プラットフォーム (VLP) ⑪テラコヤ・スイッチ ⑫メンタルフレンド ⑬学校に行きづらい子どもの保護者の思い ⑭すこやか ⑮Kitos (キーツ) ⑯CAPS (キャプス) 		

発行日：令和5年9月改訂
発行所：調布市教育委員会指導室
2025-124

⑩バーチャル・ラーニング・プラットフォーム (VLP) NEW

3Dメタバース空間により構築されたバーチャル空間であり、タブレットなど端末を通してアバターを操作し、コミュニケーションをとることができます。

対象年齢：小学校1年生～中学校3年生

☎042-481-7718・7719

(教育委員会指導室)